

開倫ユネスコ協会 活動案内

メッセージ

開倫ユネスコ協会は、2001年1月にユネスコの理念に共感し設立され、公益財団法人日本ユネスコ協会連盟に加盟しました。ユネスコ（UNESCO＝国際連合教育科学文化機関）の本部はパリにあります。



当協会は「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心に平和のとりでを築かなければならない」というユネスコの基本理念をもとに、人間の安全保障（Human Security）を掲げ、様々な活動・イベントの実施、E S D（Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育）への取り組み、後援を通し、学習の場を拡げる活動を積極的に行っております。

開倫ユネスコ協会の主な活動内容

1.世界寺子屋運動（書き損じハガキ回収）

開倫ユネスコ協会では、世界寺子屋運動の一環として、書き損じハガキの回収活動に力を入れています。集まった書き損じハガキは、世界中の非識字で悩む人々、教育を受けられない子どもたちの学習環境整備（小学校の建設や先生の育成）に役立てられます。お手元に書き損じハガキがありましたら、ぜひ当協会までお送りください。



2.平和の鐘を鳴らそう運動

平和への祈りと願いを大きな力へと結集していくため、毎年8月に地元寺院等のご協力により鐘を撞かせていただき、私の平和宣言を読み上げながら子どもたちに平和の大切さ、尊さをについて考えてもらうイベントです。

開倫塾全校舎でも実施

～わたしの平和宣言～

1. 「すべての人の生命を大切にします」
2. 「どんな暴力も許しません」
3. 「思いやりの心を持ち、助け合います」
4. 「相手の立場に立って考えます」
5. 「かけがえのない地球環境を守ります」
6. 「みんなで力を合わせます」



3.KAIRIN 杯ドッジボール選手権国際親善大会

開倫ユネスコ協会が主催し、2024年で25年目を迎えました。毎年約2000人の参加があり、どのチームも一丸となって優勝を目指し頑張っています。2024年は宇都宮市日環アリーナで4月13日と14日の2日間開催。2400名が参加。



4.文芸大賞への取り組み

ポエム・俳句・短歌・童話・小説・エッセイ・NIE・イラスト・書道・読者大賞についてそれぞれコンクールを実施しています。ユネスコは教育・文化・福祉・科学に係わっていることもあり、子どもたちの未来を創造するきっかけづくりができればという願いから応募を募り、優秀な作品を表彰しています。2024年10月14日に足利市研修センターで午前10時から表彰式



5.ユネスコ世界哲学の日 —哲学なくしてユネスコなし—

毎年11月第3木曜日は、国連が定めた「ユネスコ世界哲学の日 UNESCO World Philosophy Day」です。開倫ユネスコ協会では、毎年、11月第3木曜日には、「ユネスコ世界哲学の日」記念講演会・シンポジウムを開催しています。2024年は11月21日（木）に足利商工会議所わたらせホールで開催



6.東日本大震災・熊本地震 ネパール大地震 被災地の復興支援

主催・後援する各種イベントにおいて募金活動を継続して積極的に行い、随時支援金をお送りしています。また、ネパールのSHREE VRIKUTI SECONDARY SCHOOLへ文房具を寄贈し、当協会パンデー・サパナ会員が現地で手渡しました。



7.平和のシンボル アオギリの木 植樹

当協会に寄贈された広島市の被爆アオギリ2世の苗木を、足利市・足利公園に植樹しました。



8.ルワンダの教育を考える会への支援・協力



9.開倫ユネスコ協会ニュースレターの発行

この他、県・地域ユネスコ連絡協議会への参加や実施、各種イベントへの後援や災害時の募金活動など、地域に根ざした活動を行っています。